

別表 1

自主検査表（日常） 4 月

検査実施者 ○○ ○○

| 日 | 曜日 | 検査項目 | | | | | | | |
|----|----|-------------|--------|-----------|----------------|----------|--------------|--------------|-------------------|
| | | 避難通路等の物品の有無 | 吸い殻の処理 | 終業時の火気の確認 | ガス器具のホースの老化・損傷 | 倉庫等の施錠確認 | 火気設備器具の異常の有無 | 電気器具の配線老化・損傷 | その他（トイレ内の可燃物等の確認） |
| 1 | 月 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 火 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ |
| 3 | 水 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 木 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | | | | | | | | | |
| 29 | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | |
| 31 | | | | | | | | | |

（備考） 検査を実施し、良の場合は○を、不備・欠陥のある場合は×を、即時改修した場合は△を付してください。

なお、不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告するものとします。

| | |
|---------|--|
| 防火管理者確認 | |
|---------|--|

注意事項

各用途別の自主検査項目のポイント

自主検査表の検査項目欄には、確認事項等を記入します。なお、各用途別の特性は、下記のとおりですので、これらの特性を自主検査項目に加味し、事業所の実態に応じて実施するようにします。

キャバレー・ナイトクラブ等 発熱を伴う照明器具等電気器具の異常の有無

遊技場等 遊技機械等の異常の有無

飲食店等 天蓋・グリスフィルター・防火ダンパー・ダクトの清掃

物品販売店舗等 別表1の例示の項目に同じ。

旅館等 天蓋・グリスフィルター・防火ダンパー・ダクトの清掃、客室内の火気、リネン室・倉庫等の施錠確認

診療所等 診療機械等の異常の有無

保育園等 天蓋・グリスフィルター・防火ダンパー・ダクトの清掃

各種学校等 別表1の例示の項目に同じ。

蒸気・熱気浴場 ボイラー、サウナ室、浴室の異常の有無

公衆浴場 危険物・薪等の燃料貯蔵場所の火気、危険物施設（地下タンク等）、脱衣場・ロッカー内の火気

作業場等 作業機械等の異常の有無

事業所等 湯沸器の異常の有無

別表2

自主検査表（定期）

| 実施項目 | | 確認箇所 | 確認結果 | |
|--------------------|-------------------|---|------------------|---------|
| 建築物構造 | (1) 柱・はり・壁・床 | コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。 | ○ | |
| | (2) 天井 | 仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等はないか。 | ○ | |
| | (3) 窓枠・サッシ・ガラス | 窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下又は枠自体の外れのおそれのある腐食、緩み、著しい変形等がないか。 | ○ | |
| | (4) 外壁・ひさし・パラペット | 貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等が生じていないか。 | ○ | |
| 避難施設 | (1) 避難通路 | ① 避難通路の幅員が確保されているか。 ② 避難上支障となる物品等を置いていないか。 | ○ △ | |
| | (2) 階段 | 階段室に物品が置かれていないか。 | ○ | |
| | (3) 避難階の避難口 | ① 扉の開放方向は避難上支障ないか。 ② 避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。 ③ 避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に物品その他の障害物はないか。 | ○ ○ ○ | |
| 火気設備器具 | (1) 厨房設備 | ① 可燃物品からの保有距離は適正か。 ② 異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。 ③ 燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。 | ○ ○ ○ | |
| | (2) ガスストーブ・石油ストーブ | ① 自動消火装置は適正に機能するか。 ② 火気周囲は整理整頓されているか。 | ○ ○ | |
| 電気設備 | 電気器具 | ① コードに亀裂、老化、損傷はないか。 ② タコ足の接続を行っていないか。 ③ 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。 | ○ ○ ○ | |
| その他 | 危険物 | ① 容器の転倒、落下防止措置はあるか。 ② 危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。 ③ 整理清掃状況は適正か。 | ○ ○ ○ | |
| 検査実施者氏名 | 検査実施日 | 検査実施者氏名 | 検査実施日 | 防火管理者確認 |
| 構造関係 ○○ 避難関係 ○○ | ○年4月1日 ○年4月1日 | 火気設備器具 ○○ 電気設備 ○○○○ | ○年4月5日 ○年4月5日 | |

（備考） 検査を実施し、良の場合は○を、不備・欠陥のある場合は×を、即時改修した場合は△を付してください。
 なお、不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告するものとします。

注意事項

各用途別の自主検査項目のポイント

自主検査表の実施項目及び確認箇所を例示のように記入します。なお、各用途別の特性は、下記のとおりですので、これらの特性を自主検査項目に加味し、事業所の実態に応じて実施するようにします。

火気設備器具

- 遊技場等 厨房設備（湯沸器、ガスコンロ等）
- 旅館等 厨房設備・ボイラー
- 診療所等 湯沸器
- 蒸気、熱気浴場 ボイラー
- 作業場等 機械設備
- 事業所等 湯沸器

電気設備

- キャバレー・ナイトクラブ等 発熱を伴うスポットライト等は可燃物と接触していないか。
- 遊技場 電気器具（遊技機械、照明器具等）

その他

- 診療所等 アルコール類等の危険物は指定数量の1/5未満となっているか。
危険物を保管する薬品棚には、転倒防止措置をしているか。
- 公衆浴場 危険物（重油等）の漏れ、あふれなどはないか。
施設周囲は、整理整頓されているか。
- 作業場等 危険物は指定数量の1/5未満となっているか。
漏れ、あふれのないように管理されているか。
- 飲食店等
物品販売店舗等
保育園等
各種学校等

別表2の例示の項目に同じ。